

もののけの森に行きました

屋久島町立永田小学校

永田小 五年 藤井 阿弥

もののけひめの話を知っていますか。もののけひめは、宮崎はやおさんが書いたズブリの有名な作品です。その作品のふたつになったのが白谷雲水キョウです。ここは、こい緑に包まれています。こい緑のおくに、あたしを見ているしかがいいます。しかは、あたしを見守ってくれているのではないだろうかと思っ、てしまいます。しかの足

永田小学校

元には、太い根がはっています。地面をおおうように、びっしり生えています。空気がひんやりして、木の根も生きているんだらうと思います。木の根にすわり、じっとしていらすと、わたしも木になっ、たような気がしました。上から、鳥の鳴き声が聞こえます。

「ホーホケキョー。」

かわい声の後から、ちがう小鳥の声が聞こえました。お母さんと顔を合わせ、

「合唱しているみたいね。」

永田小学校

と言いました。しばらく聞いてりましたが、  
いっぱい歌ってつかれたのか、歌は終わって  
しまいました。

かわいり歌だたね。

お母さんが言いました。周りは急に静かに  
なりました。しばらくすると、ぴきのセミ

が、

ミンミンミン

と鳴き始めました。そえにづらえたかのように

に、

ミンミンミン

ズウズウ

ミン

といろいろなせみが鳴き始めました。

ズウ

ツ

せみの声は、いっまでも続きました。

もののけひめのお話で、宮崎はやあさんは

自然と人間、ながよくくらしなさいと言いた

か、たのではありませんかと、白谷雲水きょうに

行  
ッ  
て  
思  
い  
ま  
し  
た  
。

永  
田  
小  
学  
校